



# 2023年度 帰国生入学試験

## 論文 経営学部

氏名					
受験番号					

次の記事を読んで、以下の3つの問のすべてに答えなさい。

この問題は、著作権の関係により掲載ができません。  
なお、出典情報は以下の通りです。

[出典情報]

出典：『日本経済新聞』（2022年7月21日朝刊）より  
「出社、コロナ前の6割 働き方の最適解 企業模索」  
出版社：株式会社 日本経済新聞社

- (1) 「テレワーク」とはどのような働き方のことを言いますか。
- (2) テレワークのメリットとデメリットを挙げてください。
- (3) 「日本ではコロナ禍の新たな働き方の総括がないままに、出社が増えている企業も多い」（上記記事より抜粋）のはなぜだと思いますか、あなたの意見を記述してください。

採点欄	
-----	--

(裏面を使用する場合は表の氏名欄が下になるようにすること。)



# 2023年度 帰国生入学試験

## 数学

デザイン工学部・理工学部・生命科学部

氏名				
受験番号				

〔I〕

平面上に三角形 OAB がある。三角形 OAB の内角  $\angle AOB$  の二等分線と辺 AB との交点を D とする。三角形 OAD の内角  $\angle AOD$  の大きさを  $\theta$  とし、 $OA = 5$ ,  $OD = 3$ ,  $\cos \theta = \frac{1}{3}$  であるとする。次の問いに答えよ。

- (1) 三角形 OAD の辺 AD の長さを求めよ。
- (2) 三角形 OAD の内角  $\angle OAD$  の大きさを  $\alpha$  とする。 $\sin \alpha$  の値を求めよ。
- (3)  $\sin 2\theta$  および  $\cos 2\theta$  の値を求めよ。
- (4) 三角形 OAB の内角  $\angle OBA$  の大きさを  $\beta$  とする。 $\sin \beta$  の値を求めよ。
- (5) 三角形 OAB の面積を求めよ。

採点欄	
-----	--

# 2023年度 帰国生入学試験

## 数学

デザイン工学部・理工学部・生命科学部

氏名				
受験番号				

〔Ⅱ〕

1 から 21 までの自然数を順に並べた数列  $1, 2, 3, \dots, 21$  がある。各項の総和を  $S$ 、各項の 2 乗の総和を  $T$ 、各項の 3 乗の総和を  $U$  とする。また、異なる項を  $p, q$  とするとき、 $p \times q$  ( $p < q$ ) の総和を  $V$ 、 $p \times q^2$  の総和を  $W$  とする。次の問いに答えよ。

(1)  $n$  を自然数とすると、数学的帰納法により次式が成り立つことを示せ。

$$\sum_{k=1}^n k^3 = \left\{ \frac{1}{2}n(n+1) \right\}^2 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

(2)  $S^2$  を、 $T, V$  を用いて表せ。また、 $V$  の値を求めよ。

(3)  $S \times T$  を、 $U, W$  を用いて表せ。また、 $W$  の値を求めよ。

採点欄	
-----	--

# 2023年度 帰国生入学試験

## 数学

デザイン工学部・理工学部・生命科学部

氏名				
受験番号				

〔 III 〕

$\alpha, \beta$  を、 $\alpha + \beta = 2$ 、 $\alpha < \beta$  を満たす実数とする。

関数  $f(x)$  を  $f(x) = x^2 - 3x$  とし、曲線  $y = f(x)$  を  $C$  とする。 $C$  上の点  $(\alpha, f(\alpha))$  における接線を  $l_1$ 、 $C$  上の点  $(\beta, f(\beta))$  における接線を  $l_2$  とする。次の問いに答えよ。

- (1) 接線  $l_1$  の方程式を、 $\alpha$  を用いて表せ。
- (2) 2直線  $l_1, l_2$  が直交するとき、 $\alpha, \beta$  の値を求めよ。
- (3) 曲線  $C$  および  $l_1, l_2$  で囲まれた部分の面積を求めよ。

採点欄	
-----	--

# 2023年度 帰国生入学試験

## 数学

デザイン工学部・理工学部・生命科学部

氏名				
受験番号				

〔IV〕

$t$ を正の実数とする。座標平面上に、3点 $O(0, 0)$ ,  $A(2, 14)$ ,  $B(3t, t)$ , および直線 $OA$ 上の点 $C\left(\frac{1}{5}t, \frac{7}{5}t\right)$ , 直線 $OB$ 上の点 $D(6, 2)$ がある。三角形 $OAB$ は鋭角三角形であり、直線 $AD$ と $BC$ の交点を $P$ とする。また、三角形 $OAP$ ,  $OBP$ ,  $ABP$ の面積をそれぞれ $S_1, S_2, S_3$ とする。次の問いに答えよ。

- (1)  $\overrightarrow{OA} \perp \overrightarrow{BC}$  かつ  $\overrightarrow{OB} \perp \overrightarrow{AD}$ であることを示せ。また、 $t$ の値の範囲を求めよ。
- (2) 三角形 $OAB$ の面積 $S$ , および面積比 $\frac{S_1}{S_3}, \frac{S_2}{S_3}$ を、 $t$ を用いて表せ。
- (3)  $S_3$ が最大となるときの $t$ の値, および $S_3$ の最大値を求めよ。

No. 4 / 4

合計欄	
-----	--

採点欄	
-----	--